

若手研究者のネットワーク“CS-NET”を立ち上げます

研究支援委員会 委員 宮崎 理（明治学院大学）

保田 真希（北翔大学短期大学部）



この間、研究支援委員会では、本学会に所属している若手研究者のネットワーク（Creative Support Network：略称CS-NET）の立ち上げを準備してきました。いよいよこの3月より、CS-NETの運用をスタートします。

CS-NETは、若手研究者の情報交換および相互交流の促進を目的としています。ここで言う若手研究者とは、研究をスタートして間もない研究者を指しています。その中には、多様な年齢と経験の会員が含まれます。若手研究者にとって、立場が近い者同士の交流は、研究を遂行するうえで極めて重要なものです。とりわけ本学会会員は、他学会に比してそのキャリアが多様であり、研究継続のための相互の支え合いがより一層必要です。学部からストレートに大学院に進学した会員だけでなく、社会福祉実践現場での豊かな経験を基盤として研究を始めた会員等も少なからずいることでしょう。

しかし、研究者同士でピアの関係を作れるか否かは、所属している研究機関や居住地域等の違いによる格差が大きいという現実があります。このことは、若手研究者個人の研究継続を困難ならしめるだけでなく、ひいては社会福祉学の発展を阻害する要因となりかねず、解消が必要です。

また、社会福祉学には、学際的な知見を摂取しながら発展してきた歴史があります。当学会にも、社会福祉学を共通のフィールドとしながらも、多様な学問領域に軸足を置く会員が存在します。研究キャリアの初期において、多様なバックグラウンドを持つ研究者同士が交流を深めることは、個々の研究者に知的刺激をもたらすこととなるでしょう。

CS-NETは、これらに寄与すべく研究支援の一環として運用するものです。CS-NETではメーリングリストを活用して、若手研究者相互の日常的な交流を図ります。また、立ち上げ後には、研究遂行のため情報交換会や学習会等の開催を検討しています。これから参加するみなさんとともに、具体的な取り組みを行なっていきたいと考えております。

さて、CS-NETの立ち上げにあたり、研究支援委員会では3月21日（月・祝）にオンライン・イベントを開催いたします。このイベントでは、CS-NETの運用開始にともない、参加・活用方法などを研究委員会委員よりみなさんにお伝えします。また、3名の若手会員より話題提供をいただきます。さらに、それらを手がかりに情報交換会を実施し、若手研究者が直面する課題とネットワークづくりの方向性について共有します。

なお、このイベントはこれから本学会に入会することを検討しているみなさんにも開かれたものです。先に述べたように、「若手研究者」の定義は解釈の余地があるものです。みなさんの参加をお待ちしております。